

羽ばたけ 大空へ

財団 月報

第72回 全日本学生体操競技選手権大会 杉野正堯さん(金)メダル! 男子団体(銅)メダル!

8月10日(12日、ベ
イコム総合体育館(兵庫
県)で開催された第72
回全日本学生体操競技
選手権大会において、
鹿屋体育大学体操競技
部の杉野正堯さん(ス
ポーツ総合課程2年)
が種目別選手権あん馬
で金メダルを獲得、男
子団体総合選手権では
昨年に続き3位となる
大健闘の成績を残しま
した。



金メダルを獲得した杉野さん



団体チーム(左から(学年)) 中谷(3)、藤巻(1)、前野(4)、堀内(3)、大村(4)、杉野(2)さん

競技2日目、団体戦
の好調な雰囲気をもつ
て迎えた種目別選手
権では、まずあん馬で
杉野さんが金に輝き、
チーム全体の士気を
更に高めると、続く吊
り輪で前野風哉さん
(同4年)が銀、跳馬
で長谷川瑞樹さん(同
3年)が銀、最後の鉄
棒で前野さんが銅を獲
得するなど、他の選手
も得意とする種目で最
大限の実力を発揮し多
数入賞しました。杉野
さんは「優勝できて素
直に嬉しい。全日本種
目別ではあと一歩のと
ころで優勝を逃し悔し
かった。今回必ず優勝
するという強い気持ち
で臨んだ。結果に満足
することなく優勝し続
けて来年の全日本種目
別のタイトルも再び獲
得したい」と新たな決
意を語りました。

8月12日、入間市市
民体育館(埼玉県)で
開催された第57回全日
本学生なぎなた選手権
大会において、鹿屋体
育大学なぎなた部春山
りんかさん(武道課
程1年)が試合競技個
人の部で優勝しました。
春山さんは1年生なが
ら決勝戦までトーナメ
ントを勝ち進め、大阪
体育大学4年生相手に
延長にまでもつれ込む



試合競技個人優勝の春山さん



団体チーム(左から後列(学年)) 春山(1)、上間(1)、田口(2)、北(3) (前列) 三浦(3)、畠山(4)、上地(2)さん

第57回全日本学生なぎなた選手権大会 春山りんかさん 優勝! 団体の部 準優勝!

8月4日、毎年恒例
のかのや夏祭り「総踊
り」(かのや夏祭り実行
委員会主催)に、鹿屋
体育大学からも参加し
ました。



参加者のみなさん

編集・発行/
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827 (直)
編集兼発行人 風呂井 敬

「総踊り」本番を前
に行われた結団式では、
森司朗理事から猛暑の
中を踊る参加者へ激励
の言葉が述べられた後、
教職員からの差し入れ
のパーベキューに舌鼓
暑い中踊りを披露する
英気を養いました。さ
らには、おなか一杯にな
った後は、踊りの練習を
自主的に行うなど体育
大学生らしい意気込み
が見受けられました。
暑さが若干やわらい
席付近で

かのや夏祭り「総踊り」に参加

「テスト」と聞くとよい
思い出さない方も多いの
ではないだろうか? 定期
試験や入試で苦い思いを
した方も多いだろう。か
く言う私もテストや受験
では苦しんだ一人だ▼と
ころで、今年(2018年)は明治維新
150年の年であり、大
河ドラマ『西郷どん』をは
じめ様々なイベントが盛
り上がりを見せている。実
は、テストと明治維新に
は密接な関係がある。維
新は江戸時代までの身分
による世襲の世界から、
能力ある人が要職に抜擢
されるという大きな変化
を生み出した。そのときに
力を発揮したのが学校と
テスト(試験)という2つ
の制度である。江戸時代
までは長らく続いた身分制
度から人々を解放する制
度だったということだ▼
現在では「苦しい」「難し
い」テストも、長い時間を
かけて徐々に形を変えて
きた。そして今、大学入試
もこれまでのような英語
や数学のテストに加え、
表現力や主体性を評価す
る仕組みへ大きな変化を
遂げようとしており、本
学でも改革が進められて
いる▼少子化の時代、本学
に適した学生に入学して
もらうために魅力的な
入試を準備したい。明
治維新が始まった鹿児島
の地で、明治維新が生ん
だテストの改革に携わる
機会が得られたことを非
常にありがたく感じてい
る。(Y・K)

わかくこ

スポーツを愛する すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

平成31年度学生募集のお知らせ ～推薦入試及び一般入試～

●推薦入試

1. 募集人員	体育学部	スポーツ総合課程	50人
		武道課程	20人
		合計	70人

2. 推薦要件

推薦入試に出願できる者は、次の(1)～(5)のすべてに該当する者とします。

(1) 次の各号のいずれかに該当する者で出身学校長が責任を持って推薦し得る者(既卒者については卒業後1年以内)

- ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者
- ③学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) 本学が定めた強化種目において、以下のいずれかの競技成績をあげた者

- ◎強化種目：[スポーツ総合課程]
陸上競技、体操競技、水泳、バスケットボール、サッカー(男子)、テニス、バレーボール、海洋スポーツ(セーリング、ローイング)、自転車競技
- [武道課程]
柔道、剣道、なぎなた(女子)

①スポーツ総合課程

- (個人種目)
- ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者
 - ・公式ランキング16位以上の競技成績を有する者
 - ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者
 - ・ブロック大会の種目別・団体総合ベスト8以上の競技成績を有する者(テニス、体操競技、駅伝)
- (団体種目※)
- ・全国大会又はブロック大会に出場した競技成績を有するレギュラーメンバー
 - ・ブロック単位での優秀選手、強化選手

※団体種目とは、バスケットボール、サッカー(男子)、バレーボールの種目を指します。

②武道課程

- ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
- ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
- ・ブロック単位での優秀選手、強化選手
- ・金鷲旗高校柔道大会又は玉竜旗高校剣道大会において連続15人以上勝ち抜いた者

(3) 当該スポーツ・武道の分野においてその活動を継続し、競技力の向上に努める者

(4) 調査書の全体の評定平均値が3.0以上の者

(5) 本学の教育課程を履修するための学力を有する者

3. 選抜日程等

出願期間	平成30年11月19日(月)～11月22日(木)
選抜日程	平成30年12月6日(木)・12月7日(金)
合格者発表日	平成30年12月14日(金)

4. 選抜方法

推薦入試は、出身学校長の推薦に基づき、本学が行う試験(小論文、面接及び実技検査)の成績、調査書、競技歴調査書、推薦書の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

なお、大学入試センター試験は課しません。

※実技検査の内容

下記のとおり課程別に指定した実技検査種目AからOまでの中の1種目を選択することになります。

- ア. スポーツ総合課程
A 陸上競技 B 体操競技 C 水泳 D バスケットボール
E サッカー(男子)(フットサルを除く。) F テニス
G バレーボール
海洋スポーツ(セーリング：H ヨット I ボードセーリング、ローイング：J ボート K カヌー) L 自転車競技
- イ. 武道課程
M 柔道 N 剣道 O なぎなた(女子)

●一般入試

1. 募集人員	体育学部	スポーツ総合課程	60人
		武道課程	25人
		合計	85人

2. 出願資格

一般入試に出願できる者は、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、平成31年度大学入試センター試験の教科・科目の中から本学が指定する3教科・3科目を受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3. 選抜日程等

出願期間	平成31年1月28日(月)～2月6日(水)
選抜日程	平成31年2月25日(月)・2月26日(火)
合格者発表日	平成31年3月6日(水)

4. 選抜方法

一般入試は、平成31年度大学入試センター試験並びに本学が行う試験(面接、実技検査)の成績、調査書、指定調査書の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

※実技検査の内容

下記のとおり課程別に指定された実技検査種目又は運動能力検査(スポーツ総合課程のみ)で実施します。(AからNの中から1種目を選択することになります。)

ア. スポーツ総合課程

- A 陸上競技 B 器械運動 C 水泳 D バスケットボール
E サッカー F テニス G バレーボール
海洋スポーツ(セーリング：H ヨット I ボードセーリング、ローイング：J ボート K カヌー) L 運動能力検査(検査項目：自転車エルゴメータによる持久性テスト、垂直跳テスト、リバウンドジャンプテスト、敏しょう性テスト)

イ. 武道課程

- M 柔道 N 剣道

5. 本学が課す平成31年度大学入試センター試験の教科・科目

- (1) 平成30年度以前の大学入試センター試験成績の利用は行いません。
- (2) 国語又は数学から1教科・1科目、地理歴史若しくは公民又は理科から1教科・1科目、外国語から1科目の合計3教科・3科目を受験していることが条件です。

なお、本学が指定する教科・科目数を超えて受験した場合は、高得点となる3教科・3科目を合否判定に用います。ただし、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を受験する場合には、第1解答科目の得点を用います。

教科	グループ	科目	教科科目の選択の方法
国語		『国語』	左記の2教科・7科目のうちから1教科・1科目を受験していること。
	①	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』	
数学	②	『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』『情報関係基礎』	左記の3教科・18科目のうちから1教科・1科目を受験していること。ただし、「基礎を付した科目」については、2科目を受験していること。
	地理歴史	①	
公民		②	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』
	理科	①	『物理』『化学』『生物』『地学』
外国語		②	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』
			左記の1教科・5科目のうちから1教科・1科目を受験していること。(『英語』を選択する者は、筆記とリスニングの双方を受験すること。)

(問い合わせ先)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学教務課入試係
TEL：0994-46-4869 FAX：0994-46-2515 E-mail:nyushi@nifs-k.ac.jp
公式ホームページ <http://www.nifs-k.ac.jp/>

大型二種免許から
大型二輪免許まで
取得可能です



大型二種・普通二種・大型一種・中型一種・大型特殊
普通一種・大型二輪・普通二輪・AT限定解除・中型限定解除

鹿児島県公安委員会指定

KANOYA DRIVING SCHOOL
鹿屋自動車学校



入校日
毎週水曜日・土曜日
AM 8:30~9:00
PM 1:00~1:20

〒893-0057
鹿屋市今坂町10115番地
TEL(0994)43-4141

すべての消費者のために!!



守るべきは鹿児島の自然
伝えるべきは鹿児島の食文化

心にしみる...



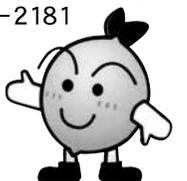
小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地
TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363
<http://www.shochu-kojika.jp>
お酒は20歳を過ぎてから。

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181



「ダンス発表会」を開催

7月26日、鹿屋体育大学水野講堂にて「ダンス発表会」が行われ、発表会には約30名の学生が参加し、ダンスの発表を行いました。発表内容は、前期授業の集大成として、ダンスの風景をモティーフにしたもの、日常の風景をダンスで表した創作ダンス等、発表会に合わせたダンスを行いました。



や音響、撮影も受講生自身で行っており、発表するだけでなく運営も担当することで、支える側の大変さも学ぶことができた。授業の締めくくりとなりました。

平成30年度第1回大学説明会及び体験授業を開催

鹿屋体育大学では、受験希望者とその保護者等を対象として、7月14日に平成30年度第1回大学説明会、翌15日に体験授業を開催し、全国各地から大学説明会に179名、体験授業には延べ102名（保護者の見学を含む）の参加がありました。



在学生からのアドバイス



体カトレ=ミング
-筋力を高める方法を体験しよう-

大学説明会では、大先輩や入試の概要などについて、説明や在学生からのアドバイス、実験・実習体験を含む施設見学等を行い、翌日の体験授業では、2つの授業が開講されました。また、同窓会からの支援による学生食堂体験や課外活動団体のポスター展示も行われました。

SPORTEC2018 5年連続で出展

鹿屋体育大学は平成30年7月25日、27日の3日間、東京ビッグサイトで開催された、日本最大のスポーツ・健康産業総合展示会「SPORTEC2018」に出展しました。同大学の出展は今年で5回目となります。展示会の規模は毎年拡大しており、今年度は約900社のスポーツ・健康産業関連企業が出展し、主催者発表では来場者数は3日間で51,005名にのぼりました。



同大学の出展は、受託・共同研究等の産学連携に関する広報活動を主な目的としており、産学連携に関する広報チラシ、大学リーフレット、スポーツパフォーマンス研究センターパンフレット等の配布の他、受託・共同研究等の事例や研究成果を用いた製品、施設などについて実際の製品や模型等を用いて紹介を行いました。展示内容に興味を持った来場者をはじめ、スポーツ産業関連企業で勤務している同大学OB関係者も多数訪れた同大学のブースは、大学施設や産学連携活動の事例と成果など多岐にわたる質問で期間中賑わいました。

【学内共同教育研究施設だより】

スポーツトレーニング教育研究センターで行っている2つのプロジェクト

本センター（通称トレーニング）では、①アスリートドック、②子供貯筋という2つのプロジェクトに取り組みしています。

①は、アスリート向けの人間ドックという意味です。様々な種類の選手を対象として現状の体力を測定し、フィードバックをすることでPDC Aサイクルを実現し、競技力の向上を図ります。本学の選手はもとよりですが、研究協力校（中学校、外部からの一流選手も受け入れて、サッカー、バスケ、陸上競技、カヌー、自転車競技、体操、柔道）の共同利用施設として測定機器が集中的に配置され、教員・学生の誰もが利用できます。卒業研究や修士・博士課程での研究にも活発に利用されています。入試の際には運動能力検査場にもなっています。



センター長・山本 正嘉

課外活動団体紹介



漕艇部

私たち漕艇部は、中村夏実先生を顧問とし輝北ダムを中心に日々練習に取り組んでいます。練習内容としては、毎週月曜日から土曜日まで、ウェイトトレーニングやローイングエルゴ、室内バイクを使ったトレーニング、輝北ダムでの乗艇練習などを行っています。ただ体を動かすのではなく、授業で学んだ知識を使ったり、全員が練習の目的を共有したりするなど頭を使った練習を心がけています。

練習場である輝北ダムでは、鹿屋の高校生と共同で使用しており、より良い成績を残すためお互いに切磋琢磨しています。このような環境で練習を行うことにより、日々多くのことを学ばせて頂いています。

昨年、今年と部員が増え、ようやく1~4年生が揃いました。部の活気が大会に向け日に日に高まっています。このモチベーションを維持したまま、今年度の全日本大学選手権大会に臨む所存です。今年度は全日本軽量級選手権で男子ダブルスカル8位入賞、女子シングルスカル4位入賞、西日本選手権大会で男子ダブルスカル優勝など、ようやく名前が残るようになってきました。しかし、まだまだ納得のできる結果ではないため、試合までの残りの時間を一漕入魂の気持ちで、一回一回の練習が有意義になるように心がけていきます。私たちは他のチームに比べて体格がやや劣っていますが、基本を忠実に戦っていきます。

まだまだ未熟ではありますが、伸び盛りの鹿屋体育大学漕艇部の応援をよろしく願います。

昨年、今年と部員が増え、ようやく1~4年生が揃いました。部の活気が大会に向け日に日に高まっています。このモチベーションを維持したまま、今年度の全日本大学選手権大会に臨む所存です。今年度は全日本軽量級選手権で男子ダブルスカル8位入賞、女子シングルスカル4位入賞、西日本選手権大会で男子ダブルスカル優勝など、ようやく名前が残るようになってきました。しかし、まだまだ納得のできる結果ではないため、試合までの残りの時間を一漕入魂の気持ちで、一回一回の練習が有意義になるように心がけていきます。私たちは他のチームに比べて体格がやや劣っていますが、基本を忠実に戦っていきます。

汲取の御注文 浄化槽の管理



水質保全に 全力投球

鹿屋市 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425



- ★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!
- ★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う 寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

何か物足りない、何か決め手に欠く、 そんな“あと一歩”をお手伝いします。



〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541

URL http://www.shinsei-p.co.jp E-mail kan@shinsei-p.co.jp

福岡・熊本・鹿児島・宮崎・国分・川内・都城・奄美・種子島・屋久島
大口・指宿・南薩・志布志・南大隅・串間・日南・出水・始良・曾於

タイ王国女子バレーボールナショナルチームが鹿屋市で事前キャンプを実施

7月23日～8月2日、タイ王国女子バレーボールナショナルチーム一行(以下、「タイチーム」)が来日し、鹿屋市で合宿を行いました。今回の来日は、5月8日に鹿屋体育大学、鹿屋市、鹿児島県とタイ王国バレーボール協会との間で締結した2020年東京オリンピック競技大会事前キャンプに関する覚書に基づいて実現したものです。

タイチームは、初日に、鹿屋体育大学の松下雅雄学長ら関係者を表敬訪問しました。松下学長からは監督や選手へ、東京2020オリンピック出場に向けて激励の言葉が贈られ、タイチームの監督とキャプテンからは今回の誘致に伴う大学の協力への感謝や決意表明が述べられました。タイチームは滞在期間中、鹿屋体育大学の施設や串良平和アリーナ(鹿屋市)を利用した強化練習を実施。中でも同大学のスポーツパフォーマンス研究センターを中心に、フォースプレイトやモーションキャプチャシステムを用いて行ったブロックの動作分析やサーブパフォーマンスの測定では、真剣な表情で稀に見る測定結果を確認する選手の姿が見受けられました。

また、串良平和アリーナにて行われた、同大学女子バレーボール部とのエキシビションマッチは、女子バレーボール部員にとって、世界レベルの選手の競技力を身をもって感じる貴重な経験となりました。さらに、会場に訪れた多くの市民は、タイチームの選手からサインをもらったり、抽選会を行うなどホストタウンとしての交流も深めました。

タイ王国女子バレーボールナショナルチームの「2018 バレーボール女子世界選手権」を初めとする国際大会におけるさらなる活躍が期待されます。



表敬訪問にて



盛り上がったエキシビションマッチ



お詫び

平成30年8月号の4面記事「鹿屋体育大学・財宝産学連携寄附研究講座運営委員会を開催」の写真キャプションに誤りがありましたので、左記のように訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 森医院長
(正) 森委員長

授業料の納付について

平成30年度後期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いいたします。

1. 銀行口座引落日：10月29日(月)
10月26日(金)までに引落口座へ入金してください。
2. 授業料(半期分)：267,900円
3. 問い合わせ先：
鹿屋体育大学 財務課出納係
TEL 0994-46-4840

学生宿舍経費の納付について

平成30年度後期分の学生宿舍経費は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いいたします。

1. 銀行口座引落日：平成30年10月12日(金)前日までに引落口座へ入金してください。
2. 学生宿舍経費：後期分(平成30年10月分～平成31年3月分)

寄宿料	25,800円	(4,300円×6ヶ月)
運営費(居室電気料含む)	57,000円	(9,500円×6ヶ月)
計	82,800円	
3. 問い合わせ先：鹿屋体育大学 学生課生活支援係
TEL 0994-46-4888

闘いの記録 7月

- 【男子バレーボール】
- ◆第1回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会(7/14～16 兵庫/明石市大蔵海岸公園特設ビーチバレーボールコート)
4位 岩本・柳
 - ◆九州大学ビーチバレー男子選手権大会(7/21～22 熊本/芦北マリンパークビーチ)
1位 岩本・柳
- 【柔道】
- ◆第60回全国国立大学柔道優勝大会(7/1 東京/講道館)
▽男子
男子団体 2位 鹿屋体育大学

- 【ヨット】
- ◆2018年度九州学生ヨット選手権大会(個人戦)(7/7～8 福岡/福岡市ヨットハーバー)
国際スナイプ級 3位 宮本・伊藤
- 【自転車競技】
- ◆2018 Japan Track Cup I & II(7/6～8 静岡/伊豆ベロドローム)
▽女子
エリートオムニアム 6位 橋本 優弥
 - ◆第5回JICF国際トラックカップ(7/14～15 長野/松本市美鈴湖自転車競技場)
▽男子
エリートケイリン 2位 真鍋 智寛
9位 阿部 将大
14位 松本 憲斗
15位 徳田 匠
エリート1kmタイムトライアル 8位 阿部 将大
3位 阿部 岸田・真鍋
▽女子
エリートケイリン 5位 西島 叶子

- エリートスプリント 6位 西島 叶子
 - エリート20kmマディソン 2位 中井・西島
 - エリートオムニアム 1位 橋本 優弥
4位 中井 彩子
 - エリート500mタイムトライアル 2位 西島 叶子
 - エリートチームスプリント 1位 中井・西島
- 【ウインドサーフィン】
- ◆JWA九州選手権大会2018(7/1 大分/住吉浜リゾートパークBUZZ前)
▽男子
テクノメンズ 1位 穴見 知典
 - ▽女子
テクノウィメンズ 2位 石塚 智葉実
1位 渡邊 純菜

学内行事 10月

- 1日 開学記念日
- 2日 授業開始
小クラス懇談会(～3日)
学内交通安全指導(～5日)
履修登録変更期間(～16日)
- 12日 AO(SS)入試第2次選考
- 13日 第2回大学説明会
- 22日 大学院修士課程入試
- 23日 大学院博士後期課程入試

闘いのスケジュール 10月

- 6日・2018全日本自転車競技選手権大会オムニアム(～7日 静岡/伊豆ベロドローム)
- 10日・平成30年度全日本大学対抗テニス王座決定試合(～16日 愛媛/愛媛県総合運動公園)
- 19日・第34回U20日本陸上競技選手権大会(～21日 愛知/パロマ瑞穂スタジアム)
- 21日・2018ジャパンカップサイクルロードレース(栃木/宇都宮市大通り周回コース)
- 28日・第66回全日本学生剣道優勝大会(大阪/大阪市中央体育館)
- 31日・第83回全日本学生ヨット選手権大会(～11月4日 愛知/愛知県蒲郡市豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖)

ありがとうございます
賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。
心から感謝申し上げます。

《一般》
カイコー(株)様(三万円)

皆様の声をお聞かせください!!

鹿屋体育大学広報室では、皆様のご意見をこれからの広報活動への参考とすべくアンケートを実施しております。

アンケートは左記QRコード(下記URL)からweb入力できますので、ぜひアンケートにご協力ください。ご意見お待ちしております。



URL : <https://goo.gl/forms/FKWozr2cv0t3NFgy2>
アンケート回答期限：平成30年11月15日

